

薩摩川内市次世代エネルギービジョンに基づく 行動計画(案)

平成24年10月19日
薩摩川内市

1. 本市次世代エネルギービジョン(案)と行動計画(案)の関係

薩摩川内市次世代エネルギービジョン(案)

- 1.ビジョン策定の背景と目的
- 2.我が国のエネルギー政策の改革の方向性
- 3.本市におけるエネルギー消費の現状と次世代エネルギー導入可能性
- 4.次世代エネルギーを巡る市民や企業の意識
- 5.薩摩川内市が抱える課題
- 6.次世代エネルギーを活用した取り組みの方向性及び重点分野

7. 具体的取り組み例

テーマ毎に個別事業を例示する

8. 薩摩川内市の未来像

- (1)市民生活の快適性等向上
- (2)市民意識の更なる向上
- (3)関連産業の集積と産業活動の効率性等の向上
- (4)次世代エネルギーの導入促進
- (5)既存エネルギー源も含めた新しいエネルギーの使い方の浸透

内容の
詳細な検討

各テーマ
との
連動

行動計画(案)

注:前回会合より「テーマ9」を追加。

- 10年程度の時間軸を念頭に作成。
- 実施に際し「ヒト」、「カネ」、「ワザ」の使い方検討。

市民生活

テーマ1:エネルギーの使い方に着目した、高齢者の生活支援サービスの実現

テーマ2:市民と地域の交流を促すスマートアクセスの実現

テーマ3:エネルギーの使い方にも配慮した生活様式の確立

テーマ4:エネルギーの市民意識の向上

テーマ5:市民の活力によるエネルギーの自給自足モデルの構築

産業活動

テーマ6:市内資源を活用した地域型産業の振興

テーマ7:本市農林水産力の向上

テーマ8:本市特有の観光スタイルの創出と育成

都市基盤整備

テーマ9:次世代エネルギーの効果的な導入に関する技術研究及び仕組みづくり

テーマ10:立地環境等を踏まえた、エネルギーの賢い使い方に関する仕組みづくり

2. 行動計画(案)の基本構成

- 行動計画(案)は、1. 基本的考え方、2. 取り組みの柱、3. 柱毎のテーマ及び具体的プロジェクト及びロードマップで構成する。
- ビジョンとの整合性を図るため、ビジョンと行動計画の関係についても明記する。

1. 基本的考え方

行動計画の柱や実施プロジェクト等に関する基本的考え方(次頁参照)を明記する。

2. 取り組みの柱

(ア)市民生活関連、(イ)産業活動関連、(ウ)都市基盤整備関連を柱とする。

3. 柱毎のテーマ及び具体的プロジェクト

(1)上記柱に基づき、10のテーマを設定。その上で具体的プロジェクトを記載する。

(2)ビジョン、特に未来像との関係を明記する。

(3)なお、プロジェクトの実施に関し、まずは現状把握や調査等を実施、その上で実証実験等を行い、本格実施に移行するか否か判断することを基本とする。

4. ロードマップ

(1)時間軸毎にプロジェクトを整理する。

(2)国のエネルギー政策の動向やプロジェクトの進捗状況等を見ながら、2~3年毎にレビューを行う。

3. 行動計画(案)の基本的考え方

1. 現実性・事業性がある10万都市のモデルの構築(環境配慮型都市の実現)

ビジョンに記載する、薩摩川内市の将来像に関する基本的考え方や、本市の地域特性を踏まえるとともに、地域資源を最大限活用し、現実性・事業性がある10万都市の地域エネルギー政策のモデルとなる事業を整理したものとする。

2. 政策の連動性と次世代エネルギーから見た解決策

施策目的の着実な達成を図るため、「本市総合計画」、更には同計画に記載される「本市一体化躍動プラン」に基づく戦略テーマに対し、次世代エネルギーの観点からの関連性や解決策を検討する。

3. 市民生活の課題解決の仕組み

市民生活における様々な課題解決に寄与する、次世代エネルギー利活用方策の検討と整理を行う。

4. 地域の持続的経済発展への貢献

市民生活の質の向上、産業振興、更には地域の活性化に貢献する次世代エネルギーの利活用方策(基幹エネルギーの使い方を含む)や、事業管理の仕組みを作る。

5. 施策の実効性と重点対応

実施事業の効果や他の施策への波及効果等を勘案し、本市が抱える課題への対応とともに、地域特性、課題、住民の意向を踏まえ、重点的に推進していくことも検討する。 3

4. 柱毎のテーマと具体的プロジェクト例

- これまでの市民との対話結果も踏まえ、行動計画の柱に沿ってテーマを設定。
- 今後は、本市が考える未来像の実現に向け、テーマ毎に具体的な取り組みを検討する。
- また、取り組み内容に沿った人材育成の方法や資金調達の仕組み等も検討する。

1. 市民生活関連

(1) テーマ1: エネルギーの使い方に着目した、高齢者の生活支援サービスの実現
(未来像における「市民生活の快適性等の向上」関連)

(ア) 市民のライフスタイルニーズ、地域活動実態調査

(イ) 各家庭におけるヘルスケアデータ管理、各家庭のHEMSと一体化した地域の高齢者等見守りの仕組み構築

(ウ) 安心・安全なスマート拠点を実現するための仕組みづくり

(2) テーマ2: 市民と地域の交流を促すスマートアクセスの実現
(未来像における「市民生活の快適性等の向上」関連)

(ア) 市民のアクセス環境実態の把握

(イ) 公共交通のスマート化促進(例: 宅内ディスプレイ等からの乗車予約システムの構築)

(ウ) EVバス、EVタクシー等の導入

4. 柱毎のテーマと具体的プロジェクト例

(3) テーマ3: エネルギーの使い方にも配慮した生活様式の確立
(未来像における「既存のエネルギー源も含めた新しいエネルギーの使い方の浸透」等関連)

- (ア) スマートハウスの普及
- (イ) グリーン電力・熱証書の活用
- (ウ) 公共施設や共同浴場等市民が集う場所でのエネルギー管理の推進
- (エ) スマートタウンやスマートビレッジモデルの段階的整備

(4) テーマ4: エネルギーの市民意識の向上 (未来像における「市民意識の更なる向上関連」)

- (ア) 市民向け次世代エネルギー等に関する普及啓発(例: 出前講座)
- (イ) 学校等の施設を活用した環境教育の推進
- (ウ) 学校施設のネット・ゼロエネルギー化等の取り組みの推進

(5) テーマ5: 市民の活力によるエネルギーの自給自足モデルの構築
(未来像における「既存のエネルギー源も含めた新しいエネルギーの使い方の浸透」関連)

- (ア) 各地区でのエネルギー需給調査とニーズ予測等
- (イ) 公共施設、遊休地等を活用したモデルづくり
- (ウ) 売電益等を活用したポイント制の導入

4. 柱毎のテーマと具体的プロジェクト例

2. 産業活動関連

(1) テーマ6: 市内資源を活用した地域型産業の振興

(未来像における「関連産業の集積と産業活動の効率性等の向上」関連)

(ア) 次世代エネルギー関連企業誘致に向けた実態調査と支援措置の検討・導入

(イ) 関連企業の集積と雇用の創出

(ウ) 地域製品のブランド化と中心市街地等を活用したショーケース化

(2) テーマ7: 本市農林水産力の向上

(未来像における「関連産業の集積と産業活動の効率性等の向上」関連)

(ア) スマートファームの普及(例: 次世代エネや情報通信技術を活用した作業効率向上)

(イ) 未利用バイオマスの情報収集システム構築

(ウ) スマートビレッジモデルの段階的整備(再掲)

(3) テーマ8: 本市特有の観光スタイルの創出と育成

(未来像における「関連産業の集積と産業活動の効率性等の向上」関連)

(ア) 甌島等を舞台にしたエコきゃんぱくの企画・実施

(イ) 魅力的な回遊ルートづくりと電気自動車等の利用促進

(ウ) EVバス、EVタクシーの導入整備(再掲)

4. 柱毎のテーマと具体的プロジェクト例

3. 都市基盤整備関連

(1) テーマ9:次世代エネルギーの効果的な導入に関する技術研究及び仕組みづくり
(未来像における「次世代エネルギーの導入促進」関連)

(ア)次世代エネルギー導入に関する技術の確立

(イ)普及導入体制の構築(基幹エネルギーとの協調のための仕組みづくり)

(2) テーマ10:立地環境等を踏まえた、エネルギーの賢い使い方に関する仕組みづくり
(未来像における「既存のエネルギー源も含めた新しいエネルギーの使い方の浸透」関連)

(ア)スマート街区、地域等づくりに向けた調査・計画の推進

(イ)スマートグリッド整備(実証実験)

(ウ)HEMS用情報端末を用いた双方向システムサービスの確立(実証実験)

5. ロードマップ例

(テーマ1:エネルギーの使い方に着目した、高齢者の生活支援サービスの実現)

○地域全体でエネルギーの使い方を考えながら、特に高齢者が安心して生活できる環境づくりを進める。

10年程度の時間軸

短期

市民の生活様式・ニーズ等調査

各家庭におけるヘルスケアデータ管理、HEMSと一体化した地域の高齢者見守りの仕組み構築

高齢者等の健康維持・向上の仕組み作りと、居住者のエネルギー利用の見える化による見守りの仕組み作りの実現。

中期

スマートグリッド、スマートメーターの仕組みを流用し構築。

安全・安心スマート拠点を実現するための仕組みづくり

地区コミュニティにおける高齢者の生きがいづくりの拠点形成

長期

市全域の各拠点をスマートにつなぎ、総合的に活性化させるマネジメントの仕組み作りを実現

総合マネジメントセンター機能づくり